

HSK

いちばんぼし

HSK通巻238号

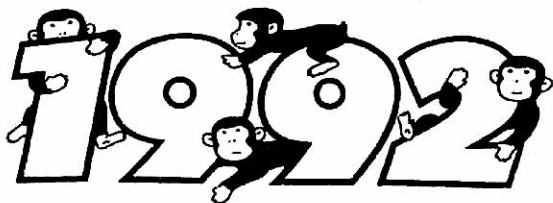
昭和48年1月13日第3種郵便物認可
平成4年2月10日発行(毎月10日)

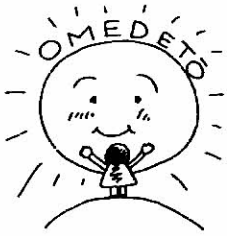
全国膠原病友の会北海道支部

いちばんぼし No.82

もくじ	
1992. 2. 10	
支部だより	

◇年頭にあたり.....	1~ 2P
◇おたよりコーナー(年賀状紹介).....	3~ 6P
◇地区だより <札幌地区> 新岡典子.....	7P
<旭川地区> 印田裕美.....	8~ 9P
◇事務局からのお知らせ.....	10~11P
◇あとがき.....	12P





★年頭にあたり★

〈支部長〉小寺 千明

新年を迎え、会員の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

新しい年を自宅で迎えられた方も、また残念ながら病院のベッドの上で迎えられた方も、今年一年無事に過ごせますようにと願った方がほとんどではなかったでしょうか。

機関誌で度々お知らせしてきましたが、友の会北海道支部は今年の秋に発足20周年を迎えます。そのための記念誌づくりも昨年より本格的に進められ、また9月頃には記念大会も予定しています。患者会が20周年を迎えることが決しておめでたいこととは思いません。でも患者同士がお互いに励まし、助け合って生きていこうと結成された友の会が、20年もの間たくさんの仲間を失ったり、休会に追い込まれそうになりながらも活動を続けてこられたことに対する喜びは、素直に分かち合いたいと思います。

“膠原”NO.84の特集「患者会活動の原点を考えてみて」で、私は「患者会はお互いに助け合い励まし合って、ともに学び成長していく集まりでなければなりません」と書きました。逆に言えばお互いに助け合い励まし合って、ともに学び成長していく集まりでなければ、患者会とはいえないと思うのです。そう考えた時に、最近の活動にはともに学び成長していくという点

が欠けてきているように思われてなりません。一部の運営委員や地区担当の人達に任せきりということはないでしょうか。会員の皆さんはどうお考えになりますか。

平成元年3月に「難病とは、難病問題とは何か」で始まった難病患者生活実態調査は、「難病白書」としての刊行をもって終了しました。私も膠原病友の会としての補充調査をするために、調査委員会には第1回目より出席させて頂きました。この補充調査の結果については、20周年記念誌でお知らせする予定です。

「難病白書」は病気や障害や年齢の違いではなく、ひとりの人間として安心して暮らせる社会づくりを目ざして、より多くの皆さんにその実態を知ってもらうことを目的としています。この記念誌と難病白書が20年を迎える友の会道支部のこれからの活動のステップになることを願ってやみません。

そんな思いを込めて、そして新たな出発ができるような20周年を迎えられますように、今年もどうぞよろしくお願い致します。





おたよりコーナー

年賀状紹介

今年もたくさんの皆様より年賀状をいただきました。
この場をかりて厚くお礼申し上げます。
ここに、お名前のみご紹介させていただきます。

(順不同、敬称略)

マンガで見る
厚子式
☆☆
ダイエツト

平成4年版

皆様の健康をばよりお祈りしております

今年の
教訓!

見やる

聞かざる

言わざる

END.

本年もよろしく
お願い申し上げます

謹賀新年

〈札幌市豊平区〉楠 厚子

こうして…今年も努力する私なのであった……。

全国膠原病友の会
顧問(前会長)
寺山 忍み

新年おめでとうございます。
 昨年はいろいろ有難うございました。
 本年もどうぞよろしく御指導のほどお願い申
 上げます。
 ご家族皆様お元気で良いお年をお迎えの事と
 お察し致します。私は20年間私宅を全国膠原
 病友の会の事務局として患者の皆様のお声を
 聞いて居りましたが70才を期に全てを次の時
 代の方々にお願いして今は週2日人工透析を
 しながらいろいろな手仕事に忙しい毎日を送
 って居ります。お陰様で本当に感謝しており
 ます。お寒い毎日が続きますが皆様にはくれ
 ぐれもご大切にお過ごし下さい。



さてめでたし 初日の出
 日の字に捧を 立てたれば
 申の文字にこ なり申す
 申に寄り添う 人ありて
 伸の一字と なり申す
 伸びる気持の 欠けたれば
 欠伸も出ずる 申の春
 春に誓いし わが思い
 倦まざり急かざり 巧まざり
 この三ざりで いく予定
 うまくいかなきゃ ざり芝居
 今年もよろしく 願います

1992 元旦

玉木 朝子



平成4年元旦

栃木県支部
支部長 玉木朝子

•北海道低肺の会

•全国膠原病友の会宮城県支部役員一同

- " 群馬支部
- " 東京支部
- " 埼玉県支部
- " 千葉支部運営員一同
- " 神奈川県支部
- " 愛知県支部
- " 滋賀支部運営スタッフ一同
- " 京都支部役員一同
- " 奈良支部
- " 大阪支部
- " 関西ブロック役員一同
- " 兵庫県支部
- " 岡山支部
- " 広島県支部
- " 佐賀県支部
- " 鹿児島支部



•千葉市 森 美智子

•深川市 松崎 道幸

•札幌市西区 渡辺 力

• " " 新岡 典子

• " " 高嶋 康雄

• " " 佐々木 由紀子

• " 豊平区 深尾 桂子

• " " 立川 冨美子

• " 北区 山崎 あき

• " " 児玉 法子

•西彼杵郡長与町 入江 奈穂子

•つくば市 川村 みき子

•札幌市東区 畑中 豊子

• " " 葛西 美智子

• " " 小北 さよ子

• " 南区 渡部 清深

• " 手稲区 高松 美知子

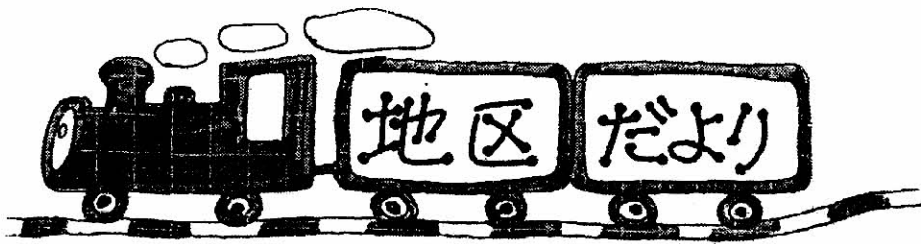
• " 中央区 渡辺 弘子

•北見市 加藤 禎子

• " 堀畑 まつよ

・北見市	横浜 友子	・帯広市	藤田 浩子
・ "	信本 和美	・ "	荒尾 みや子
・函館市	小林 テイ	・ "	金田 律子
・ "	船樹 玲子	・ "	福島 寿子
・旭川市	市川 利一	・名寄市	藤田 郁子
・ "	高橋 芳江	・ "	森 靖子
・深川市	三谷 真千子	・釧路市	関川 みよ
・ "	西野 芳子	・ "	鈴木 裕子
・小樽市	村井 恵子	・ "	石垣 サトエ
・ "	鈴木 才吾	・江別市	杉村 和子
・稚内市	日野 京子	・紋別市	宮沢 ヤス子
・苫小牧市	伊藤 粹裕	・滝川市	笠原 俊子
・芦別市	佐藤 文子	・恵庭市	北上 澄子
・室蘭市	市橋 しおり	・士幌町	大野 ひとみ
・上ノ国町	国下 喜代子	・上磯町	秋元 清美
・中標津町	古瀬 京子	・本別町	大通 むつ子
・幕別町	平井 園子	・遠別町	長尾 美千代
・茅室町	川村 明美	・上川町	谷津 光子
・上磯川町	清水 五郎	・当麻町	木村 誠子
・美瑛町	高野 由香	・上湧別町	村上 清司
・遠軽町	澤田 ゆかり	・興部町	佐野 志津子
・足寄町	干場 弘美	・滝上町	小谷 智代





札幌地区

初めてアップル会に出席して ■新岡 典子

札幌に住んで7ヶ月が過ぎ、主人の推めもあって新年会兼アップル会に出席させて頂きました。

今年は道友会と合同とのことでした。小寺支部長の挨拶と乾杯で始まり、私のレパトリーにはないお料理の数々の美味しかったこと、ビールも飲み放題でお腹も満たされた頃、道友会の佐々木さん、膠原病から大沢さんの司会で、ビンゴゲームが始まりました。途中リーチをかける人、ビンゴと手を上げる人、安田夫妻は揃ってビンゴを、私もハンカチセットが当りラッキーでした。二次会も準備されており、夜のススキノへと酒席ならではの美声も聞かせて頂き、ひと足先に帰宅しました。

友の会の大切さも再認識したひとときでもありました。ありがとうございました。

幹事の皆様ご苦労様でした。次回も期待しています。



⑧「アップル会」とは、札幌地区連絡会の集まりの名称を言います。

新年会に参加して

印田 裕美

友の会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

私は昨年9月、医療講演会を聞きに行ったのがきっかけで、友の会に入会しました。私の発病は、もうかれこれ10年程前の昭和57年、ちょうど今頃でした。当時、友の会の存在は、病院の婦長さんからそういう会があることは伺っていましたが、その頃は膠原病ではなく、若年性慢性関節リウマチと診断されていましたし、会がどこで活動しているかわからなかった事もあり、入会がだいぶ遅れてしまいました。

さて、今回の新年会は私にとって、入会后初めての参加行事となり、また友の会の人達とも身近に会うのはこれが初めてで、初めてづくしの私はちょっぴり緊張しました。

場所は新華桜という中華料理屋の2階で座敷、集まった人数は17人で丸いテーブルを囲み、和やかに新年会が始まりました。

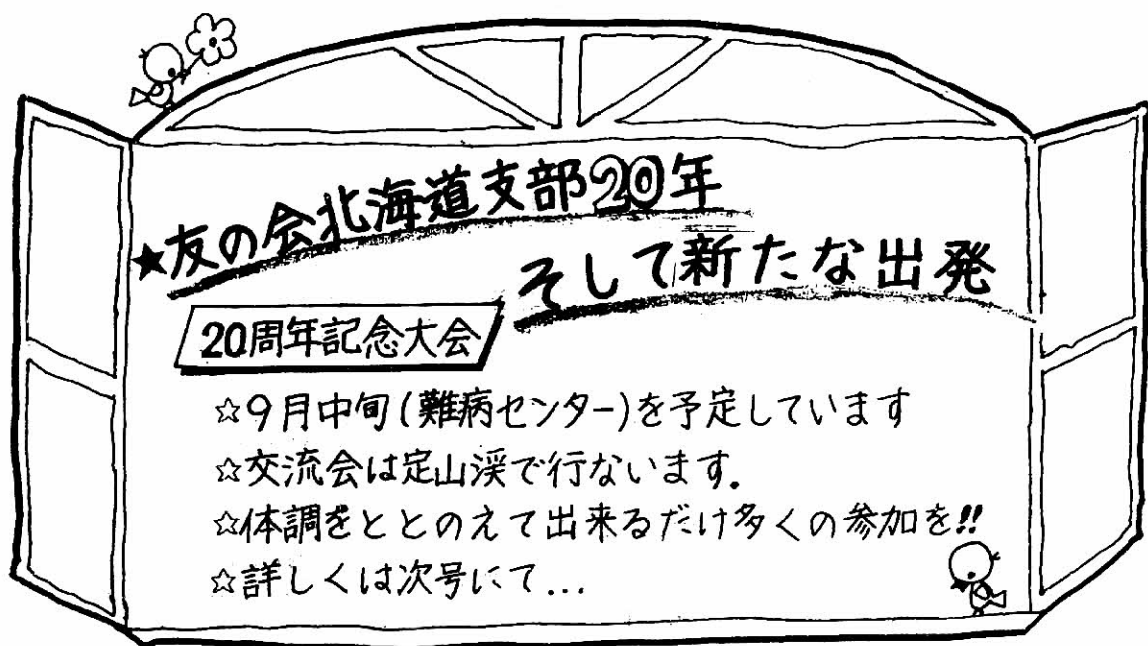
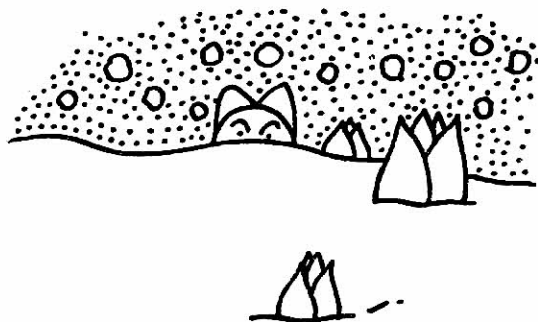
いろいろな人の話を聞いていると、楽しい話や苦しい話など出てきました。特に苦しい辛い話は、同じような病気を持っていて気持ちがわかるせいか、思わずうん、うんとうなづいてしまいました。

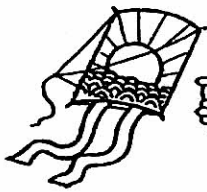
なんだか今日初めて会った気がせず、もっと以前からの知り合いのような気がして、私の緊張の糸はみるみる解けてしまいました。それに私のテーブルには、私と同じくらいの年齢の人もいたり、頼りになるお姉さんのような人もいたり、けっこう話に花が咲きました。

いろいろなアドバイスを受けたり、勇気づけられたりと、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

私は普段家にいるので、たまに気分転換を兼ねて出来るだけ参加したいと思います。こういう集まりがあるのを楽しみに待っていますので、どんどん楽しい企画を増やして下さい。

それでは、皆様のご健康をお祈りします。今年も宜しく願います。





事務局からのお知らせ



1992.1.31現在

☐ ご寄付いただきました

- 大和田 一夫様 5,000円
 - 太田 久美子様 5,800円
 - 新岡 典子様 5,800円
 - 葛西 芳子様 800円
 - 吉倉 保則様 800円
- ♡♡ありがとうございました

☐ 新しく入会された方達です

- 尾形 美保子 (SLE疑、S29.7.21生)
- 山田 恵子 (シェーグレン症候群、橋本病、S13.11.9生)
- 関口 巖 (強皮症、皮膚筋炎、多発性筋炎、S22.2.2生)

♡♡よろしく願います

☐ 住所変更された方達です。

- 川村 みき子
- 大野 ひとみ
- 北上 澄子
- 市橋 葉

住所変更された方は、なるべく早目に
事務局までご連絡下さい。



いちばんぼしNO.81(平成3年12月10日発行)の“事務局
からのお知らせ”の新入会員のところで訂りがありました。
お詫びして訂正します。

◎信濃屋 三也子 → 信濃屋 美也子

「膠原病を克服する」

～最新医学情報とよりよい療養のために～



〈順天堂大学医学部助教授〉橋本 博史

1冊 1,300円(送料260円)

◎ご希望の方は、事務局までお申し込み下さい。

会費納入のお願い

3月で会費が切れる方に、郵便振替
用紙を同封いたしました。

よろしくお願ひします。

友の会の会費は**4,200円**です。
(年間)





明けましておめでとうございます。

強気になったり、弱気になったり、元気づけたり、励まされたり、そんな繰り返しで一年が終わり、また新しい年を迎えました。昔の辛かった時期を思い出すと、今の元気が不思議なくらい。

欲は言いません。今年一年もこのままの元気さで、楽しいものをたくさん見つけて過ごせませう、そんな思いでスタートしました。

今年の1月は晴れたと思ったら、雨が降ったり、吹雪いたり、おかしいな天気が始まりました。

皆さん、くれぐれも体調を崩しませんようにお気をつけ下さい。

(久)

~~~~~  
〈編集人〉 全国膠原病友の会北海道支部  
編集責任者 小寺 千明  
☎064 札幌市中央区南 4条西10丁目  
北海道難病センター内 ☎(011)512-3233

〈発行人〉 北海道身体障害者団体定期刊行物協会  
札幌市北区北13条西1丁目 神原義郎

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻238号 100円  
いちばんぼしNo.82 平成4年2月10日発行(毎月1回10発行)  
~~~~~